

● 千葉市防災拠点再生可能エネルギー等導入推進基金事業

事業計画個票

1. 事業概要（施設の概要）

(1) 全体概要

事業番号（環境省共通）	（場所の決定後に付与）
事業名称（環境省共通）	千葉市立あやめ台小学校再生可能エネルギー等導入事業
対象事業実施年度	H26 年度
施設名称	千葉市立あやめ台小学校（S41）
所在地	千葉市稲毛区園生町 446 番の 1

(2) 事業候補としてのスクリーニング（建物の構造上、パネルの設置が可能か）

耐震状況等	学校校舎、体育館共に耐震工事実施済み
防水・塗装等状況	学校校舎の防水工事実施済み（H24）

(3) 導入設備

設置設備	太陽光 10kW、蓄電池 15kWh（想定）
実価格（事業後）	-
各設備の設置場所	別添のとおり（詳細図面は設計・設置後で更新）

2. 選定要件の整理

(1) 低炭素化要件：低炭素化を進めるうえでの妥当性を精査するための基準

項目	内容
建築物に設置スペースがあるか	太陽光パネルの設置は屋根防水を行った校舎屋上が可能。 避難所となる体育館には外部電源を引き込む為の非常用発電設備接続盤が配置される。 蓄電池や電気室など敷地内で近くにまとめることが可能。
周辺に高い施設がないか、またその予定はないか	低層住宅地域であり、日照を遮る中高層施設が建設される可能性は少ない
高さ制限の有無	なし（パネルに30度勾配がつけられる）
日照量と設備の稼働予想（発電量・自家消費・売電量）	校舎はほぼ南向きに建てられており、横並びでパネルを設置することが可能（工事費の低下）。高さ制限や阻害建築物もないことから、十分な稼働率が見込まれる。 発電量予測：10kw×24×365×12%= 10,512kWh 自家消費予測：124,000 kWh（直近の傾向から試算） 売電予測：売電収入の確保は難しい
平常時の施設用途や使用状況	小学校。夜間・休日は市民に施設開放している。 いきいきプラザ（高齢者活動センター）や小中学生用の特別教室も併設されるなど、複数機能の融合施設。電力需要は高いものと想定。

(2) 災害対策要件：避難者などの受け入れに係る必要性を精査するための基準

項目	内容
避難所の機能（収容人数、発電設備、防災井戸等）	避難場所：学校体育館（収容人数310人）、福祉避難室、保健室。避難所本部：事務室及び職員室。
千葉県ハザードマップ情報	液状化危険度予測マップ：周辺で液状化の可能性が高い 急傾斜地崩壊危険度予測マップ：被害予測なし 建物被害予測（液状化・急傾斜地崩壊・火災）：被害予測なし
現地の周辺調査（宅地・道路の状況）	旧来からの市街地であり、新耐震基準に対応していない建物が存在する。道路は宅地開発された際に、道路が整理されている状況。
駅や集客施設からの距離	千葉都市モノレール天台駅から徒歩5分程度であり、帰宅困難者などが訪れる可能性がある。JR 稲毛駅から徒歩30分程度。
避難所運営委員会の活動状況	活動中

(3) 政策的要件：市の施策とのバランスから効果的な導入を進めるための基準

項目	内容
再エネ導入施設のバランス（市域・区域のバランス）	本基金事業において、第一弾となりバランスに問題はない。
施設の種類のバランス	本基金事業において、第一弾となりバランスに問題はない。
地理特性から整理（地域パターンや高齢者の割合等）	本基金事業において、第一弾となり地域的特性に偏りはない。 高齢者率：21%（園生町）
建築・改修時期（今後20年程度の活用が見込まれるか）	S43 建設。H24 年度に屋根防水が終わっており、H11 に耐震補強を実施。施設の建て替えや廃止の予定はない。
事業費の増減要因	蓄電池や電気室など敷地内で近くにまとめることが可能であり、工事費の増加要因は少ない。